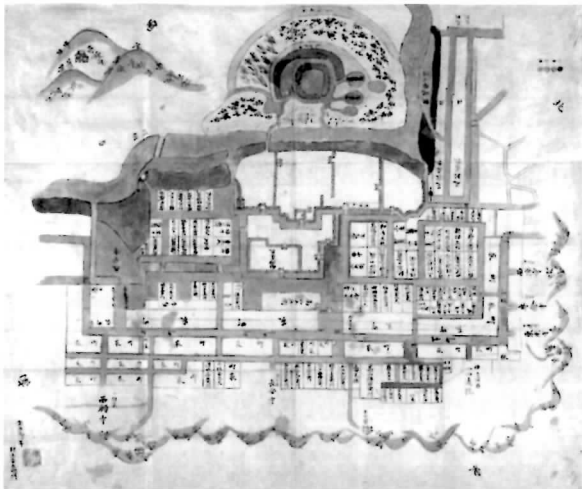


「谷村城下町とその時代を彩る文化」



「谷村城下絵図」個人蔵

都留市域は江戸時代前半、谷村藩に属しており、その拠点となる谷村城および勝山城を中心とした城下町が広がり、政治・経済・文化の中心地として発展してきました。天下分け目の関ヶ原合戦以前は、東西拮抗において重要な場所として位置付けられていた地であります。やがて、江戸幕府が成立し東西の対立に終止符が打たれた後、1633(寛永10)年に秋元泰朝が谷村藩に入封されて以降、富朝、喬知の三代による約70年間にわたる谷村藩の治績期を迎えます。

このような日本史の変動期を経て確立した城下町は現在にいたるまで都留市の原点であり、町並みの名残や史跡、有形文化財などが継承されてきました。戦乱の世の終焉期から江戸時代前期にかけての文化は日本の文化史上においても特筆すべき時期でありました。

今回の展示では、城下町の成立から谷村藩の秋元氏三代による治績の時代にまつわる文化的資料を中心に、市の歴史を紐解いて行きます。本年は都留市制50周年の節目であり、城下町として賑わっていた時期の文化について親しみを感じていただければ幸いです。



木村了琢画「天海大僧正画像」
天海賛 輪王寺宝物殿蔵
(9月26日まで展示)



常耀画「虎溪三笑図(写)」
長安寺蔵 (9月26日まで展示)



会 期	11月3日(水)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
観覧料金	一 般 600円(420円)
	高・大学生 400円(280円)
	小・中学生 200円(140円)
	()内は20名以上の団体料金
休 館 日	9月6・13・21・27日
	※9月4日(土)・5日(日)は都留市内の小中学生は無料になります。

芭蕉月待講座「山口素堂 —学識と文学—」

秋季企画展「甲州俳諧展」事前講座。この講座を聞けば企画展の内容が一層深まります。

今回は昨年度取り上げた松尾芭蕉の友人である山口素堂に再度焦点をあて、素堂の「知性」や「文学」について深く紹介します。ご参加お待ちしております。

日 時 9月28日(火) 午後6時30分～7時30分

内 容 「句の実際」

講 師 楠元六男(都留文科大学教授)

場 所 都留市博物館「ミュージアム都留」研修室

参加費 無料



賑わいをみせる「チルドレンズ・ミュージアム都留」
子ども達は様々な体験をしました。

宝くじ助成を受けて

関連イベント

「茶 会」

日 時 9月19日(日)・10月17日(日)

午前10時～午後3時

場 所 芭蕉寓居「桃林軒」(都留市ふるさと会館南側)
ぴゅあ富士

内 容 都留茶道会・都留茶道連盟による茶会

「城下町を歩く」

日 時 10月3日(日) 午前10時～

場 所 都留市博物館「ミュージアム都留」に集合

定 員 20名

内 容 城下町の史跡と寺社を巡ります

講 師 棚本安男(都留市文化財審議会・会長)

「呈茶会」

日 時 10月3日(日) 午後1時～

場 所 都留市博物館「ミュージアム都留」・エントランスホール

内 容 展示を観覧された方にお茶を味わっていただきます

※先着50名様に茶器をプレゼント(協力:長陶会)

協 力 都留茶道会・都留茶道連盟

問合先 都留市博物館「ミュージアム都留」

☎(45)8008 F A X (45)8201